

当工業会は、非破壊検査機器関連のメーカー並びに販売会社が集まり、相互の交流を深め、業界の発展のために協力を行うことを目的として平成13年4月に任意団体として設立されました。今年でようやく10年目を迎えたという新しい団体です。会員会社は放射線検査、電磁（渦流）検査、磁粉・浸透検査、超音波検査の4部門53社で構成されております。昨年には一般社団法人として登記し準公的な活動と、試験片販売などによる営利活動との両面で会を運営しております。本席にご出席の工業会企業様は私どもにとりまして品質保証の観点ではお客様になります。平素のご利用有り難うございます。

事業活動

- 1) PL対策として業界での技術レベルの確認、安全／PLシールの作成販売
- 2) 取扱説明書作成のための手引き書の作成と会員への配布
- 3) 規格・用語の統一化
- 4) 展示会の隔年開催
- 5) 各種試験片を作成、品質管理に必要な製品として販売
- 6) 各種教育活動の実施。

委員会活動

- 1) 市場統計調査委員会

非破壊検査機器の市場動向を全体像として把握します。

- 2) 規格用語委員会

JIS規格、ISO規格などの調査と研究を通して、ユーザの混乱を解消し検査機器の円滑な使用を促します。これらに無いものはJIMA独自の規格作りを行い試験片製作に役立てています。

- 3) PL／環境委員会

安全な使用を促すために業界の基準統一と取り扱いの整合を計ります。統一表示方式の取り決めやPLシールを製作し会員に販売しています

産業廃棄物に関する手引き書を作成し会員に配布し、廃棄物処理法およびリサイクル法の遵守を促進しています。

- 4) 試験片委員会

各検査装置の基準試験片を開発、製作し検査装置の定量的評価を実施しています。

- 5) 教育委員会

・安全保障貿易輸出管理令の会員向け講習会を年に1度開催しております。初級者から中級、実務者向けと内容も充実したものとしています。

・特にX線機器取扱者講習会は年2回開催し既に9回を数え好評をはくしております。

- 6) コンプライアンス委員会

昨年コンプライアンス委員会を設置し工業会としての倫理を纏め、本年には細則を取り決め会員への徹底を図ります。

最後に改正RoHS指令対応の勉強会と関連工業会団体連絡会に加盟させていただきました理由を申し上げます。

- 1) 今回の改正RoHS指令に関し、昨年より工業会内部で問題点として話がでておりました。私どもの工業会会員は大企業の系列企業と中小企業で構成されておりますが中小企業の会員企業が多いため、RoHS対応証明が簡単に貰える環境に無いことが一番の悩みであります。

- 2) 近年、製造業の海外移転に伴い国内需要が落ち込み、アジア地域への輸出がおおくなっております。

EU以外のアジア地域の動向も気になるところであります。

勉強会と連絡会に参画させて戴き、一員として行動させて戴きたくご指導宜しく願いいたします。